

## 2016 年度点検・評価シート

## I 評価項目・担当部局

対象部局	法学部
評価基準 4	教育内容・方法・成果
中項目 4-4	成果 【自己評定 B】
点検・評価項目(1)	4-4-1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
評価の視点	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用
点検・評価項目(2)	4-4-2 学位授与（卒業・修了認定）は適切に行われているか。
評価の視点	学位授与基準、学位授与手続きの適切性

## II 【点検・評価項目ごとの現状説明】

4-4-1	<p>法学部では進級時や課程修了時の学習成果の評価指標は設けていない。両学科とも 2 年次から 3 年次に進級するための修得単位要件を設けており、法律学科が 34 単位以上、政治学科が 36 単位以上である (A4-4-1 第 23 条の 15 第 2 項)。</p> <p>2015 年度の学生による授業評価アンケートでは、「Q17. この授業をとおして、自分にとって新しい考え方や発想が身につきましたか。」「Q18. この授業で扱われた分野への関心が高まりましたか。」「Q19. この授業をとおして、自分で調べ、考える姿勢が身につきましたか。」「Q20. この授業を総合的にみて、満足できましたか。」の 4 つの設問で、「非常にそう思う」「そう思う」の肯定的な自己評価をしたのは、全学年平均で、Q17. が 52.4%、Q18. が 54.2%、Q19. が 46.5%、Q20. が 55.9%である (B4-4-1、B4-4-29 d2-表 25～表 28)。</p> <p>2015 年度の卒業生アンケートでは、「Q2. 所属学部・学科についての専門的知識が身に付いたと思いますか?」「Q4. 大学 4 年間で自分の目標を達成できましたか?」「Q5. 社会を生き抜く力 (マナー、自己管理能力、コミュニケーション能力、問題解決力など) が身に付いたと思いますか?」について、法学部平均で、「そう思う (肯定)」「少し思う (弱肯定)」が、2014 年度と同様、Q2. は 92.2%、Q4. は 78.4%、Q5. は 89.5%である (B4-4-2、B4-4-29 d2-表 29～表 31)。</p> <p>また、2015 年度の進級率は 89.6%、卒業率は法律学科 79.5%、政治学科 85.2%、学部全体で卒業生に対する就職者の比率は 77.1%、就職希望者に対する就職者の比率は 92.5%であった。法律学科では 20%、政治学科では 15%近くの 4 年生が卒業できていない状況は改善が求められている (B4-4-29 d2-表 11、表 13、表 14)。</p> <p>政治学科では、2013 年度まで、卒業生を対象にゼミ履修の有無、どのような業界へ就職が決定しているかなどを問うアンケートを実施し、課程修了時の学習成果を知る一助としていた (B4-4-10)。</p> <p>今後、学習成果をよりよく測定するために、法学部で独自に卒業生を対象にアンケート調査を実施すべく、教務・FD 委員会で検討中である (B4-4-26)。</p>
4-4-2	<p>法律学科では、2014 年度以前の入学生は 4 年間の修業年限を満たし、134 単位を修得した場合、2015 年度以降の入学生は 124 単位を修得した場合に卒業が認定される。政治学科では、124 単位を修得した場合に卒業が認定される。また卒業年度において 4 年次生および過年度生は、最低 4 単位以上を修得する義務がある。これらは法学部『履修の手引』の中で明示され、履修登録時に学生に対し周知が図られている (A4-4-6 p. 15、p. 38、B4-4-27)。上記の要件のもと、教授会における卒業判定を経て卒業認定が厳格に行われている。</p>

## 【効果が上がっている事項】

4-4-1	
4-4-2	

## 【改善すべき事項】

4-4-1	
4-4-2	

## 本項目の根拠資料 (データ類、裏付けとなる資料)

A4-4-1	大東文化大学学則 《既出》A1-1
A4-4-2	大東文化大学学位規則
A4-4-6	法学部 履修の手引き 平成 28 (2016) 年度入学生用 《既出》A1-11
B4-4-1	学生による授業評価アンケートと大学教育 2015 年度 《既出》B3-12
B4-4-2	FD 報告書 卒業生アンケート 2015 年度 《既出》B4-3-27
B4-4-3	学生生活調査 (アンケート) 《既出》B1-7
B4-4-10	法学部政治学科卒業生の進路状況について
B4-4-21	授業評価結果に対する教員コメントの抜粋 (授業改善の例として)
B4-4-26	平成 26 年度第 11 回法学部教授会議事録
B4-4-27	2016 年度ガイダンス日程表 (学部・研究科)

B4-4-29 大学データ集 《既出》B1-22
〔追加資料〕

Ⅲ 【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価					
			2014	2015	2016	2017	2018	
中期目標 (2014～2018)	4-4-1・学習成果を測定するための評価指標を整備する	評価指標の完成	→			C		
	14年度目標	4-4-1・他大学などの例を調査して学習成果を測定するための評価指標の整備に向け検討を開始する。	→	A				
	4-4-1・卒業生に対して教育効果についてのアンケート調査を行う。	実施されたアンケート調査結果	→	B				
15年度目標	4-4-1・卒業生に対して教育効果についてのアンケート調査を行う。	実施されたアンケート調査結果		B				
16年度目標	4-4-1・卒業生に対して教育効果についてのアンケート調査を行う。	実施されたアンケート調査結果			A			
	4-4-1・学生による授業評価アンケートおよび卒業生アンケートの結果の分析と評価の体制の整備に向け検討を開始する。	教授会議事録により議論の進行状況が確認できる。			S			
	4-4-1・カリキュラム改正が進級率に与えた影響の分析を開始する。	教授会議事録により議論の進行状況が確認できる。			C			